

# 平成26年度事業計画

社会福祉法人 垂井町社会福祉協議会

## 1 基本方針

### 会員（町民）ニーズに沿った地域福祉活動の効果的な取組み

日本経済は、長引くデフレから脱却し景気回復局面にあるものの、4月からの消費税率引き上げの景気への影響が懸念されます。

一方、少子化、高齢化社会が急速に進む中、垂井町にあつては高齢化率が25%を超え、4人にひとりが65歳以上であり、高齢者単身世帯が増加しています。平成27年度には介護保険法が改正され、高齢者の皆さんを取り巻く環境はますます厳しくなることが予想されます。

今年度は、住民の皆様のニーズを把握し、第2期垂井町地域福祉計画に基づき、社協としての第2期垂井町地域福祉活動計画を策定すると共に以下の重点目標に沿って、地域福祉の増進に努力いたします。

## 2 重点目標

- (1) 会員（町民）ニーズの把握
- (2) 会員（町民）への福祉サービスの向上
- (3) 情報公開の推進
- (4) 人材育成（ボランティア、社協職員）
- (5) 業務の効率化（規程類の見直し、整備）
- (6) 行政、関係機関との連携強化
- (7) 共同募金配分等の効果的配分
- (8) 地区まちづくり協議会との協働
- (9) 個人情報管理の適正化
- (10) 会費募集の改善

## 事業内容

### 1 広報活動

- イ) 社協だよりの発行（年3回）8月、12月、3月発行
- ロ) 垂井町広報による広報活動
- ハ) ケーブルテレビ、新聞掲載による啓発
- ニ) ホームページの充実

### 2 地域福祉活動

- イ) 地区ささえあい連絡会の支援
- ロ) 自治会、まちづくり協議会、民生委員・児童委員、福祉推進員、近隣たすけあいボランティア等との連絡調整
- ハ) 小地域福祉見守り支援体制の強化
- ニ) 介護予防、生活支援事業（いきいきふれあいサロン事業の推進・

町内 22カ所）

### 3 高齢者福祉、在宅福祉活動

- イ) 高齢者生活支援見守り活動の展開
- ロ) 福祉機器の無料貸出（福祉ベッド、車いす）
- ハ) 給食サービス
- ニ) ひとり暮らし高齢者のつどい 年2回
- ホ) ヘルストロン（電磁界機器）の設置 6ヶ所に設置
- ヘ) 高齢者福祉相談の実施

### 4 高齢者自立支援援助事業（町委託業務）

- イ) 生活管理指導員派遣事業（地域介護予防活動支援事業）
- ロ) 食の自立支援事業（訪問型介護予防事業）
- ハ) 介護予防、生活支援事業

毎週水・木曜日はフラダンスを楽しもうの日

第1・第3水曜日童謡を楽しむ会の推進

### 5 介護保険事業

介護予防・在宅生活を重視した介護保険事業、自立に向けた支援により一層事業の効率的運営とサービス向上に努める。

- ◎ 介護度の重度化防止対応
- ◎ 24時間支える安心生活総合支援
- ◎ 利用者への相談体制の充実
- ◎ 介護保険、他制度の併用による生きがい支援
- ◎ 職員の介護技術、接遇等資質の向上
- イ) 訪問介護事業（ホームヘルプ事業）
- ロ) 通所介護事業（デイサービス事業）（指定管理）
- ハ) 居宅介護支援事業（介護支援計画作成）

- ニ) 介護保険認定調査受託事業
  - ホ) 介護予防訪問介護事業（ホームヘルプ事業）
  - ハ) 介護予防通所介護事業（デイサービス事業）
  - ト) 介護サービス情報の公表（訪問介護、通所介護、訪問入浴介護、居宅介護についての基本情報、調査情報）
- 6 障害者総合支援事業
- イ) 居宅介護事業
  - ロ) 重度訪問介護事業
  - ハ) 基準該当福祉サービス事業（デイサービス）
  - ニ) 移動支援事業
- 7 障がい者福祉
- イ) 地域活動支援センター（けやきの家）の経営（指定管理）
  - ロ) ふれあいホーム事業
  - ハ) けやきの家ギャラリーの運営
- 8 子育て支援・児童福祉事業
- イ) 福祉協力校連絡会の開催、福祉協力校の育成援助
  - ロ) ワークキャンプ、垂井ピアでの福祉学習（福祉体験学習の実施）
  - ハ) コミュニティママ子育てサポート事業（町受託事業）
  - ニ) 子育てコンサルタント事業（町受託事業）子育てサロン室運営
  - ホ) 総合学習への支援
- 9 低所得者の福祉
- イ) 要生活援助者世帯への支援活動
  - ロ) 県生活福祉資金の貸付事業及び借入返済指導、社会福祉協議会生活資金貸付事業の実施
- 10 ボランティア活動
- イ) ボランティア登録斡旋事業
  - ロ) おもちゃドクター養成講座
  - ハ) 生活支援ボランティア講座
  - ニ) 手話教室の開催
  - ホ) ボランティア保険の加入促進
  - ハ) ボランティア団体の育成強化
  - ト) ボランティア団体連絡会の運営
- 11 戦没者追悼式の実施（町補助）27年2月
- 12 災害等支援事業
- イ) 災害ボランティアコーディネーター養成講座
  - ロ) 災害による罹災見舞い事業

1 3 心配ごと相談事業（町受託）

- イ) 心配ごと相談所の開設（第1・2・3水曜日・祝祭日は翌日）
- ロ) 弁護士による法律相談所の開設（毎月第4木曜日）
- ハ) 結婚相談事業の開設（毎月第4土曜日）  
西濃地区結婚相談員連絡会 出会いのつどいに参加
- ニ) 相談員の充実と研修の強化

1 4 共同募金事業

- イ) 赤い羽根募金、歳末たすけあい募金の一括募金
- ロ) 共同募金一般配分金事業  
給食サービス事業、障害者支援事業、子育て支援事業等
- ハ) 歳末たすけあい配分金事業  
支援を要する世帯への慰問、介護者のつどい、各地区サロンの開催、  
歳末給食サービスの実施等

1 5 その他事業

- イ) 垂井町社会福祉大会の開催（第31回）
- ロ) 社会を明るくする運動への協力
- ハ) 民生委員・児童委員協議会との連絡調整
- ニ) 町福祉行政との連携
- ホ) 日本赤十字社岐阜県支部垂井町分区事業の事務及び事業推進
- ヘ) 垂井町在宅介護支援センター（社会福祉協議会）

1 6 法人経営

- イ) サービスの質の向上
- ロ) 経営の合理化の推進
- ハ) 経営の改善、強化
- ニ) 自主財源の確保
- ホ) 第2期垂井町地域福祉活動計画の策定
- ヘ) 社有車の更新
- ト) パソコンの購入
- チ) 新会計制度に伴うソフトの購入

1 7 組織、人材

- イ) 部門別の人材確立
- ロ) 専門性を高める研修の実施
- ハ) 福祉推進員・近隣ボランティア研修会の実施
- ニ) 県等主催の研修会等への積極的参加
- ホ) 情報公開制度への対応

## 18 会員の募集

イ) 自主的活動を推進するため、地域住民の積極的参加を求め、理解と協力による資金の確保

1	一般会員	一口	500円	
2	特別会員	一口	3,000円	
3	施設会員	一口	5,000円	(社会福祉法人関係) (保育園等施設関係)
4	賛助会員	一口	10,000円	(法人関係)
5	補助金	国、県、町		
6	寄附金	善意による寄付		
7	事業経営による収入			